

2007年10月19日

JASDAQ

証券コード：3048



2007年8月期 決算説明会資料

株式会社 **ビックカメラ**

- 1.2007年8月期 決算概要
- 2.2008年8月期 業績見通し
- 3.事業の現状と今後の戦略

ビックカメラ

1. 2007年8月期 決算概要

〔連結〕2007年8月期 ハイライト



売上高5,422億円(+12.9%)、営業利益160億円(+32.4%)

売上、利益共に過去最高

(単位 百万円)

	2006年8月期		2007年8月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前期比	計画比
売上高	480,453		542,294		+12.9%	+0.8%
売上総利益	116,156	24.2%	130,742	24.1%	+12.6%	
販売費及び一般管理費	104,072	21.7%	114,739	21.1%	+10.2%	
営業利益	12,084	2.5%	16,002	3.0%	+32.4%	
経常利益	12,729	2.6%	17,448	3.2%	+37.1%	+11.1%
当期純利益	6,007	1.3%	8,146	1.5%	+35.6%	+19.8%

※売上総利益、販売費及び一般管理費、営業利益の計画数値は発表していません。

新店舗効果・効率的販促と
ソフマップ通期連結化もあり二桁増収・増益

売上高5,422億円(前期比+618億円、+12.9%)

- ビックカメラ新店効果(藤沢店、ラゾーナ川崎店)
- ソフマップの通期連結化

営業利益160億円(前期比+39億円、+32.4%)

- 営業利益率改善(経費の効率的・計画的運用等)
- ソフマップ等連結子会社の収益改善

当期純利益81億円(前期比+21億円、+35.6%)

- 特別利益および特別損失の計上

〔連結〕品目別売上高



(単位 百万円)

	2006年8月期		2007年8月期			
	金額	構成比	金額	前期比	構成比	増減金額
音響映像商品	119,903	25.0%	125,486	+4.7%	23.1%	+5,582
家庭電化商品	65,659	13.7%	71,170	+8.4%	13.1%	+5,510
情報通信 機器商品	200,842	41.8%	223,000	+11.0%	41.1%	+22,157
その他の商品	89,632	18.6%	120,879	+34.9%	22.4%	+31,246
その他の事業	4,413	0.9%	1,758	△60.2%	0.3%	△2,655
合計	480,453	100.0%	542,294	+12.9%	100.0%	+61,840

〔単体〕2007年8月期 ハイライト



売上高4,464億円(+4.3%)、営業利益132億円(+20.8%)

売上、利益共に過去最高

(単位 百万円)

	2006年8月期		2007年8月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前期比	計画比
売上高	428,135		446,409		+4.3%	+0.3%
売上総利益	103,476	24.2%	108,452	24.3%	+4.8%	
販売費及び一般管理費	92,478	21.6%	95,162	21.3%	+2.9%	
営業利益	10,998	2.6%	13,290	3.0%	+20.8%	
経常利益	12,574	2.9%	15,262	3.4%	+21.4%	+9.0%
当期純利益	6,587	1.5%	7,458	1.7%	+13.2%	+16.5%

※売上総利益、販売費及び一般管理費、営業利益の計画数値は発表していません。

新店舗効果による増収と効率的な販促で二桁増益

売上高4,464億円(前期比+183億円、+4.3%)

- 新規出店(藤沢店、ラゾーナ川崎店)効果
- 池袋本店でリニューアル・オープン効果
- 大画面薄型テレビ、高機能・高付加価値・省エネ家電の好調
- 情報通信機器もパソコン周辺機器・ソフトを中心に下半期からの好転

営業利益132億円(前期比+23億円、+20.8%)

- 「積極的かつ効率的な経費の計画的運用」が奏功
 - ◆ポイント関連費 売上比7.5%(前期・売上比8.2%)
 - ◆販売促進費(キャンペーン) 売上比0.8%(前期・売上比1.0%)
 - ◆広告宣伝費 売上比1.2%(前期・売上比1.3%)

〔単体〕積極的かつ効率的な販促策

ビックカメラ

ポイント関連費用(売上比7.5%、前期比△16.9億円)

- 効率的なポイントアップキャンペーンの実施
 - ◆ 商品単品ごとの管理

販売促進費(売上比0.8%、前期比△6.0億円)

- キャンペーンの計画的な実施

広告宣伝費(売上比1.2%、前期比△1.2億円)

- テレビCM等の電波広告の見直し
 - ◆ ターゲット層の視聴が多い地域・番組・時間帯への集中的な費用投下

ビックカメラ

2. 2008年8月期 業績見通し

〔連結〕2008年8月期 業績見通し



売上高5,890億円(+8.6%)、営業利益185億円(+15.6%)

売上高・利益共に過去最高を見込む

(単位 百万円)

	2007年8月期		2008年8月期			
	実績	売上比	計画	売上比	増加額	前期比
売上高	542,294		589,000		+46,706	+8.6%
営業利益	16,002	3.0%	18,500	3.1%	+2,498	+15.6%
経常利益	17,448	3.2%	18,500	3.1%	+1,052	+6.0%
当期純利益	8,146	1.5%	12,400	2.1%	+4,254	+52.2%

新店効果等により増収・二桁増益

売上高5,890億円(前期比+467億円、+8.6%)

- JR京都駅店通期寄与・
新店寄与(岡山駅前店開店、新横浜店移転・増床)
- ソフマップ(秋葉原本館・既存店順調他)、その他子会社の寄与
- 北京オリンピック効果(大画面薄型テレビ、高機能レコーダー)

営業利益185億円(前期比+25億円、+15.6%)

- 増収効果
- 粗利益率の改善
- 積極的かつ効率的な販促策の実施、経費の効率的運用

当期純利益124億円(前期比+43億円、+52.2%)

- 特別利益
 - ◆ 不動産流動化に伴う匿名組合の清算配当金

〔連結〕2008年8月期 半期ごとの業績見通し



上期売上高2,890億円 (+9.2%)、営業利益80億円 (+0.6%)

下期売上高3,000億円、営業利益105億円

(単位 百万円)

	上 期			下 期	
	計画	売上比	前期比	計画	売上比
売 上 高	289,000		+9.2%	300,000	
通期に対する割合	49.1%			50.9%	
営 業 利 益	8,000	2.8%	+0.6%	10,500	3.5%
通期に対する割合	43.2%			56.8%	
中 間 純 利 益	6,900	2.4%	+110.1%	5,500	1.8%

〔単体〕2008年8月期 業績見通し



売上高4,730億円(+6.0%)、営業利益152億円(+14.4%)

売上高・利益共に過去最高を見込む

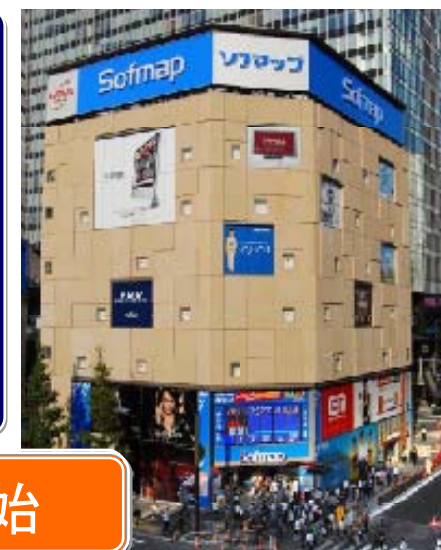
(単位 百万円)

	2007年8月期		2008年8月期			
	実績	売上比	計画	売上比	増加額	前期比
売上高	446,409		473,000		26,591	+6.0%
営業利益	13,290	3.0%	15,200	3.2%	1,910	+14.4%
経常利益	15,262	3.4%	15,600	3.3%	338	+2.2%
当期純利益	7,458	1.7%	10,900	2.3%	3,442	+46.1%

引き続き連結業績に寄与するソフマップ

ソフマップ好調の要因

- ・既存店の業績が堅調に推移
- ・Vista搭載新品パソコン、周辺機器の好調
- ・中古パソコンの需要増加
- ・秋葉原地区リニューアル経費の効率的使用



9月6日に秋葉原本館を開店し家電製品の販売を開始

(単位 百万円)

ソフマップ 単体業績	08年2月期 上期 (実績)		08年2月期 下期 (計画)		08年2月期 通期 (計画)		
	実績	売上比	計画	売上比	計画	売上比	前期比
売上高	46,184		53,816		100,000		+17.1%
営業利益	540	1.2%	560	1.0%	1,100	1.1%	△7.8%
経常利益	532	1.2%	568	1.1%	1,100	1.1%	+26.6%
当期純利益	275	0.6%	1,075	2.0%	1,350	1.4%	+97.6%

設備投資の実績と計画

	2007年8月期	2008年8月期計画
設備投資	8,597百万円	40,500百万円
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・新規出店(ラゾーナ川崎店、JR京都駅店) ・既存店舗リニューアル(池袋地区3店舗) ・東松山センター設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規出店(岡山駅前店、ソフマップ秋葉原本館) ・店舗の移転・増床(新横浜店) ・既存店舗リニューアル ・ビックカメラドットコム リニューアル ・池袋本店等取得 ・日本BS放送 新本社社屋
	2007年8月期	2008年8月期計画
減価償却費	1,401百万円	2,386百万円
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗、設備の増加(前期比+12.4%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗、設備の増加 ・池袋本店等取得(前期比+70.3%)

ビックカメラ

3. 事業の現状と今後の戦略

ビッグブランドの維持向上と着実な成長のために

ビックカメラ

目 標

- ・連結売上高7,000億円
- ・売上高経常利益率4.0%

顧客囲い込み
戦略

チャネル戦略

提携戦略

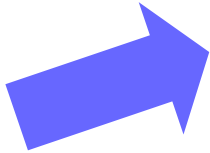
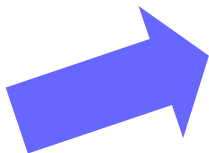
人材戦略

商品・販売
戦略

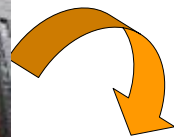
物流戦略

[チャネル戦略] 順調にスタートした新店舗(藤沢店、ラゾーナ川崎店)

ビックカメラ

	藤沢店 (06年8月4日開店)	ラゾーナ川崎店 (06年9月28日開店)
立地	藤沢駅北口出口の デッキに直結	川崎駅直結の大型 ショッピングセンター内
売場面積	約10,300m ²	約12,100m ²
売上の 傾向		

集客力大幅増加



リニューアル内容

- ・家電売場面積の拡大
- ・「高級オーディオ視聴室」の設置
- ・パソコン関連商品の取扱い
- ・内外装の改修
(エスカレータ増設・
外装デザイン変更等)

他の既存店も競争力強化へリニューアル実施

[チャネル戦略] 新店舗の展開

～2007年9月

- 2007年8月 JR京都駅店
(売場面積 約8,000㎡)
- 2007年9月 ソフマップ秋葉原本館
(売場面積 約4,600㎡)



JR京都駅店



ホーム直通の
店舗内の改札

2007年10月～

- 2007年11月 岡山駅前には岡山駅前店を開店予定
(売場面積 約8,200㎡)
- 2008年3月 新横浜店が新駅ビルに移転・増床予定
(売場面積 約2,000㎡⇒移転後 約7,000㎡)
- 2008年秋 JR浜松駅には浜松店(仮称)を開店予定
(契約面積 約4,500㎡)
- 2009年2月 JR新潟駅ビルには新潟店(仮称)を開店予定
(契約面積 約10,600㎡)



岡山駅前店



新・新横浜店

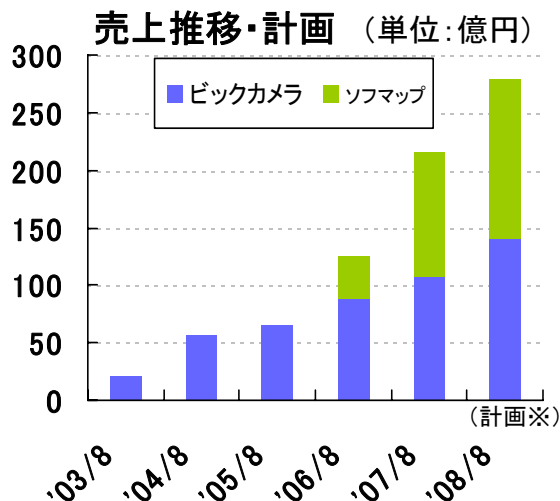
今後も成長を見込む

■ ネットショッピング (ビックカメラ+ソフマップ)

07年8月期売上高 217億円

■ 08年8月期の売上高は

250億円超を見込む



ビックカメラドットコムのリニューアル

■ システム増強により、今後予想される売上増加にも対応

■ リニューアルの内容

- ◆ アクセス速度の大幅改善
- ◆ ホームページ検索性の向上
- ◆ 品揃えアイテムの拡大



- ・顧客満足度の向上
- ・リピーターの増加

日本BS放送での「テレビショッピング」が本格化



■ 毎日のオンエアを予定



- ・ 当社の新規顧客の開拓
- ・ 売上の寄与を期待

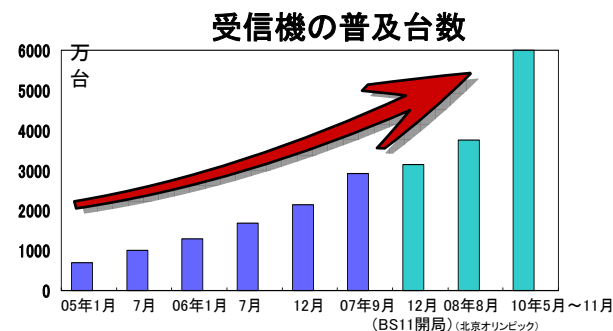
日本BS放送の概要 (BS11)

- デジタルハイビジョン番組の放送 (無料)
(2007年12月1日～)
- 番組編成 24時間総合編成
- ターゲット 団塊世代を中心とした30代以上



BSデジタル放送受信機器の普及状況

2007年9月現在 約3,000万台
⇒ 視聴者の増加



出所: 2007年9月迄はNHK調べ、2007年12月以降は当社調べ

JR東日本との提携によるカード(業界唯一)

- ビックポイントがSuicaにチャージ
- クレジットでも現金と同等のポイント付与
- 都市型店舗に合致

購買促進、利用頻度向上効果顕著



	ビックカメラSuicaカード会員
年間平均購買件数	10回
購買金額伸率 (前年比)	150%*

*ビックカメラSuicaカード会員初年度の購買金額と、1年前のビックカメラSuicaカード会員になる前(ポイントカード会員当時)の購買金額との比較

業務提携の推進

- ①修理センター・機能の相互利用
- ②物流ネットワーク・サービスの相互利用
- ③人材の相互交流
- ④オリジナル商品の共同開発
- ⑤スポーツ、玩具、酒類、寝具等の販売に向けた協力
- ⑥海外事業ノウハウの共有
- ⑦間接材の共同調達
- ⑧ポイントカタログの共通利用
- ⑨店舗運営ノウハウの共有

第三者割当増資を引受(9.3%・10月5日)

専門知識取得を重視した研修制度

専門相談員を配置

- 全店舗に750名超を配置
(当社独自制度)

外部専門資格の取得奨励

- 家電製品アドバイザー
(財)家電製品協会
- フォトマスター
(財)国際文化カレッジ フォトマスター検定委員会
- その他資格
(ドットコムマスター、自転車整備士等)

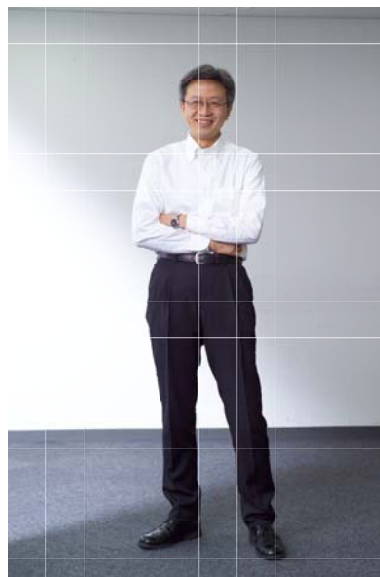


研修会実施風景

環境対策への積極的な取り組み

省エネ型製品普及促進の トップランナー

省エネルギー型製品普及推進
優良店制度4年連続上位入賞



3Rへの取り組み -自らリユース、リサイクル事業に-

環境と経済が両立した
循環型社会形成へ3Rを推進

- ・フューチャーエコロジー
(リサイクル工場)
- ・ソフマップ
(中古パソコンのリユース)

COOLBIZ EXECUTIVES

各種地球温暖化対策の キャンペーンの実施

CO₂削減の国民運動に協賛
地球温暖化防止の
トップランナー

増配(07年8月期)

- ・1,500円(+500円)
- ・安定配当を基本方針とし、今期(08年8月期)は分割により750円を予定

分割

- ・1:2の株式分割を実施(2007年9月1日付)
- ・流動性の向上

株主優待制度の改善

- ・長期株主優待制度の新規導入
- ・株式分割後も保有株式数毎の優待内容に変更無し



長期安定株主の確保

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2007年10月19日現在において利用可能な情報に基づいて、当社により2007年10月19日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2007年10月 株式会社ビックカメラ